



真岡市議会議員

お世話になります！

# 中村かずひこ通信



【発行元】中村かずひこと未来をつくる会 〒321-4362 真岡市熊倉町3423-4 Tel. 0285-82-6285 vol.22  
ホームページ <http://www.nakamurakazuhiko.com> e-mail [tonpei@i-berry.ne.jp](mailto:tonpei@i-berry.ne.jp)

☆お気軽にお声をかけて下さい。  
お友達との井戸端会議、勉強会等。2〜3人でも結構です。どこへでもお伺いいたします。  
☆あなたのアイデアを市政にいかしたいー！  
お気づきの点がございましたら、どんなささいなことでも結構です。ぜひご意見を！

「見逃したー」という方に  
バックナンバーをお送りします  
これまで「未来をつくる会」では、毎回定例議会終了時に、「中村かずひこ通信」を発行して来ましたが、1〜2号までを見逃された方は、お気軽にご連絡下さい。  
こちらからお送りさせていただきます。

次回「中村かずひこ通信」は  
1月18日(日)  
発行予定です。新聞の折り込みチラシをご覧ください。

## 9月定例議会報告

期間 9/1 ▶ 9/24

### “住みやすさ”から、さらに“次の一手”へ 9月議会一般質問

9月定例議会の質疑・一般質問が、8日(月)、9日(火)の2日間にわたって行われました。中村は8日の4人目として登壇。計4件の一般質問を行い、執行部の考えをいただきました。今回、執行部は答弁の中で、



1. 栃木SCとの連携策としてホームゲームでの「真岡市デー」の開催
2. 障がい児の「日中一時支援事業」について委託単価の見直し
3. 『ひまわり園』について二宮町の公共施設への移転等を、今後検討していくことを明らかにしました。(中面に関連記事)

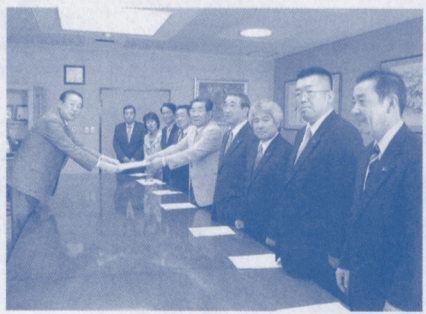
- 中村が行った一般質問の内容**
1. 環境都市としての取り組みについて
    - (1) 環境自治体スタンダード「LAS-E」について
  2. 起業家に対する支援策について
    - (1) 「インキュベーションマネージャー」の配置について
  3. 栃木SCと連携した取り組みについて
    - (1) 子育て支援センターの施設改善について
    - (2) 自然教育センター多目的広場の使用について
    - (3) ホームゲームでの「真岡市デー」の開催について
  4. 障がい児に対する支援策について
    - (1) 「日中一時支援事業」について
    - (2) 心身障がい児通園ホーム「ひまわり園」について

### 三宮町との合併関連議案が可決

9月定例議会では、二宮町との合併に関連した「真岡市と芳賀郡二宮町の廃置分合について」等の4議案についても審議され、いずれも原案の通り可決されました。今後、12月に開催される県議会で議決が行われ、その後総務大臣の告示を経て、来年3月23日に両市町は合併する運びとなります。

## みんなの想いをカタチに 建議要望を市長に提出

9月24日(水)、中村が所属する会派「真政クラブ・公明」では、平成21年度の市政に対する計59件の建議要望を、福田市長に提出しました。中村が出した要望では、以下のようなものが新たに盛り込まれました。



- 【総務関係】**  
○自治基本条例の制定
- 【文教関係】**  
○栃木SCと連携した事業の充実化  
○市民会館の自主事業費の拡充
- 【福祉関係】**  
○子ども医療費助成の対象年齢引き上げ  
○障がい児を対象とした日中一時支援事業の充実化

**一回メモ**  
2年前に提出した建議要望は合計で88件。それが昨年度あたりから、会派の所属議員から「可能な限り要望は絞り込むべき」という意見が多く出され、新規の要望を入れながらも、昨年度は65件、そして今年度は59件まで要望の絞り込みを行いました(まだまだ多いかも知れませんが…)。  
「あれもこれも」ではなく、「あれかこれか」の優先順位を考える姿勢が、議会でも求められています。



質問:中村かずひこ

# 中村かずひこ議会レポート

## 9月定例議会一般質問

答弁者：福田 武隼 市長  
馬場 照夫 産業環境部長  
手塚 仁 保健福祉部長

### 1.環境都市としての取り組みについて



**質問** 真岡市は平成16年に『環境都市宣言』をし、翌17年に『環境基本計画』を策定しているが、**市民には浸透していないのが実情である**。その要因は、何をもち『環境都市』になったと言えるのか、客観的な基準がないことが大きいように思われる。  
そこで、**環境自治体スタンダード『LAS-E』**を採用してはどうか。  
『ISO14001』が市役所内の事務事業のみを対象としているのに対して、『LAS-E』は地域全体の活動までが含まれる。さらに**目標設定や審査の過程に市民も関わることが大きな特徴**となっており、市民と行政が協働で環境問題に取り組めると思うが。

**答弁** 国際標準規格の『ISO14001』と異なり、環境自治体スタンダード『LAS-E』は、全国63自治体が加盟している『環境自治体会議』が提唱している環境政策の評価基準である。  
現在、**全国10の自治体で取り組みが行われているが、新たな評価手法**であるので、**今後の動向を見守っていく**。

### 2.起業家に対する支援策について



**質問** 現在、**工業団地への企業進出が順調に進んでいる**(分譲率…第4工業団地97.01% 第5工業団地57.69%)。しかし、各企業とも生産の効率を図る中で、**雇用の受け皿としての役割は時代とともに薄れつつある**。今後の課題は、次世代を見据えて**新たな地場産業をいかに育成していくか**、ということではないだろうか  
若手県花巻市等のように、起業家への経営・技術指導にあたる『**インキュベーションマネージャー**』を**市独自に配置**してみてもどうか。これは、単に起業家のみならず、**個人商店への経営指導や建設業に対する転業支援にも役立つ人材**であると考えが。

**答弁** 真岡市における『**インキュベーションマネージャー**』の配置については、今後の産業発展に向けて**有効な取り組みになる**と考えている。  
しかし、人材の確保や費用対効果等、まだ**多くの課題が残されている**ので、今後も**(財) 栃木県産業振興センター**におけるコーディネート事業やインキュベーションマネージャーによる相談等の活用を図っていく。

### 3.栃木SCと連携した取り組みについて



**質問** Jリーグ昇格を目指している**栃木SC**に対して、県内の自治体では**連携策や支援策**を打ち出す所が見られるようになったが、真岡市ではこれまで目立った動きがなかったことは大変残念である。  
**子ども達を対象にしたサッカー教室や、教育現場における講演会**等に、栃木SCの選手達を派遣する事業を積極的に行うことはできないのか。

**答弁** スポーツを通して青少年の健全育成を図ることは大切であると考えている。現在、**栃木SCでは選手達が夢を持つことの大切さ、フェアプレー精神の重要性を子ども達に伝える『ゆめプロジェクト』**を実施している。  
栃木SCの選手達による**講演会やサッカー教室の開催**については、**今後十分検討**したい。

**質問** 栃木SCの選手達の練習場については、人工芝による整備が行われた宇都宮市の平出サッカー場を拠点としている。本来であれば、選手生命等を考慮し、**天然芝のグラウンドで練習**したいところであるが、それが叶わないのが実情である。  
そこで、**自然教育センターの多目的広場を、栃木SCの練習場として**年間に一定の日数(小中学生の宿泊学習等に支障が出ない範囲で)**使用させる**ことはできないのか。

**答弁** 自然教育センターの**多目的広場**については、**芝サッカー場として今年8月より正式に供用を開始**したが、市、サッカー協会、中体連等が主催する大会のみに**貸出を制限**している。しかし、栃木SCについてはJ2昇格が悲願であり、今後**栃木SC側の要請があれば、支障の出ない範囲で貸出を検討**していく。

**質問** 大田原市では、8月9日に栃木県グリーンスタジアムで行われた試合を『**大田原市デー**』とし、**地元特産品の直売会や、子ども達をスタンドへ招待**するなどのイベントを開催した。こうした取り組みは、自治体、栃木SC双方にとって大きなメリットがあると思われる。  
真岡市としても、栃木SCの**ホームグラウンドで行われる公式戦**のうち1試合を『**真岡市デー**』とし、各種イベントを開催してみてもどうか。

**答弁** 『**真岡市デー**』を開催するにあたり、日程やイベントの内容について、今後**栃木SC事務局と協議**を行い、出来る範囲で**実施していきたい**と考えている。

## 4.障がい児に対する支援策について



**質問** これまで、障がい児の保護者達と意見交換をした中で、共通して出された意見が、障がい児を育てている家族が何らかの理由で育児が困難になった時、支援施設等で日中の活動の場を提供する『日中一時支援事業』の充実化を求めるものであった。

しかし、現状として

①未就学児や小学生を受け入れる施設が真岡市内になく、益子町等市外5ヶ所の事業所に委託している。

②予約制で緊急時の受け入れ態勢が整っていない。

③コスト・労力の面で負担が大きく、事業の廃止・縮小を検討する事業所も見られる等の課題が残る。

『日中一時支援事業』について、今後どのように充実化を図る考えなのか。

**答弁** 障害者自立支援法の施行から2年が経過したが、事業所の受け入れ態勢は充分とは言えない。各社会福祉法人では国の特別対策事業等を活用し、ハード面を含めた環境整備に取り組み始めたところである。

現在、事業所からの要望を踏まえ、受け入れ態勢の充実につながるよう委託単価等の見直しについて検討を進めている。

**質問** 心身障がい児通園ホーム『ひまわり園』は、中村小学校長田分校の校舎だった建物を活用しており老朽化が著しい。

また、サービス内容を見ても、保護者から要望が強い母子分離通園の拡充について未だに改善が見られない。

『ひまわり園』については、ハード・ソフト両面からの見直しが急務であると考えているが。

**答弁** 『ひまわり園』については、これまでも基礎部分や屋根等、必要に応じて改修を行ってきたが、木造建築物としての耐用年数を超え、施設整備のあり方について検討してきた。市町合併後、二宮町の公共施設に移転することも有効な方法であると考えている。

ソフト面では、来年度から個別療育等、指導内容の充実を図っていく考えである。また、母子分離通園については、これまで以上に保護者の個々の事情に配慮した柔軟な対応を実施していく考えである。

**質問** 『ひまわり園』にて施設改善を図る際、既存の施設と併設する形で『日中一時支援事業』を実施する部門を設けてはどうか。

民間の事業所に委託するような方法もあると考えているが。

**答弁** 『日中一時支援事業』は、利用者が常に一定ではないため、この事業のみを実施する場合、職員配置等の関係から採算性の面で大きな課題があり、多くの事業所では他のサービスを含めた総合的な職員配置により対応しているのが実情である。

このようなことから、『ひまわり園』で『日中一時支援事業』を行うにあたっては、事業者の確保が難しいものと考えている。

## 再質問・再々質問



### 環境都市としての取り組みについて

#### 要望

『環境都市宣言』をしてすでに4年が経過している。今も市民に浸透していない現状を見ると、施策の進め方を見直す部分もあるのではないだろうか。今回提案した『LAS-E』のようなものについては、他の自治体に先んじて採用するくらいの意気込みを見せて欲しい。

### 起業家への支援策について

**質問** 今後も(財)栃木県産業振興センターのインキュベーションマネージャーを活用していくとの答弁であった。

では、真岡市には月1回巡回する程度である(財)栃木県産業振興センターのインキュベーションマネージャーを活用して、一体これまでにどういう実績が見られたのか。

**答弁** 起業家の支援施設である『MOP21』において、これまでに15の起業家が入居し、そのうち6起業家が真岡市内で独立を果たしている。

**質問** (財)栃木県産業振興センターからも『各市町単位でインキュベーションマネージャーを置くことが望ましい』と言う話が以前から出ていたそうだが、そのことは知っていたか。

**答弁** そういう話があったことは知っている。しかし、市独自にインキュベーションマネージャーを置くことについては、人材確保や費用対効果等の問題があり、これまで(財)栃木県産業振興センターのインキュベーションマネージャーを活用してきた経緯がある。

### 障がい児の日中一時支援事業について

**質問** 『日中一時支援事業』は、障害者自立支援法の中で、市町村の事業であると定められている(第77条)。市町村が責任を果たすべき事業を民間に委託しているに過ぎない。

**答弁** 芳賀地区自立支援協議会等での話し合いを通じて、関係機関との連携を図っていきたいと考えている。

**質問** こうしたサービスの見直しを図る際には、当事者である障がい児の保護者が意見を言える場を設けるべきであると考えているが。

**答弁** それぞれの事業所においても保護者の声を聞いていると思われる。その意見を集約させる場として芳賀地区自立支援協議会を活用していきたいと考えている。

### ひまわり園の充実化について

**質問** 『ひまわり園』で『日中一時支援事業』を実施するのは、委託する事業所の確保が困難であるとの答弁であった。

しかし、本来は市町村の事業と定められているものである。責任を持って市直営でもやるべきではないのか。

**答弁** まずは『ひまわり園』の移転問題を最優先に考え、その上で判断していきたい。

#### 要望

『少子化だから、子どもを1人でも多く…』と言うが、いざ子どもが生まれ、その子にたまたま障がいがあった場合、なぜ社会全体としてのフォローが不足しているのか、現状を見ていて疑問に感じる人が多い。

『安心して子どもを産み、育てられる社会』がどういう社会なのかを考えると、障がい児や保護者に対する施策が、セーフティネットの1番下で張り巡らされている社会なのではないだろうか。

ぜひ、そうしたことをお考えいただき、今後の障がい児支援策が打ち出されることを要望したい。



総務常任委員会

真政クラブ・公明

# 行政視察 & 会派視察研修

7月から8月にかけて、総務常任委員会の行政視察と会派視察研修を1回ずつ実施しました。

## 1. 総務常任委員会行政視察 (7月8日～10日)

視察地：愛知県豊川市(市民活動センターについて)  
三重県伊賀市(議会基本条例について)



### 豊川市にて

市民活動の拠点視察「ウィズ豊川」を視察。開設当初はNPO法人が運営を担ってきたが、行政や社会福祉協議会との連携等が課題となり、2年前から社会福祉協議会が運営している。専門のボランティアコーディネーターを配置していることや、各種補助金制度が整備されていること、さらに、利用者による運営協議会が設けられていること等については、大変参考になった。



### 伊賀市にて

全国の市議会では最も早く「議会基本条例」を制定させた同市。全議員がグループに分かれて市内各地区を回る「議会報告会」や、各常任委員会が行う「出前講座」等、市民とのコミュニケーションを積極的に図りながら、議会全体のレベルアップを目指している点が大きな特徴であると感じた。また、議員同士で政策、提言を持ち寄り議論する「政策討論会」も、これまでに5回行われてきたという。

この視察では、右記の金額が公費でまかなわれました。(議員1人あたり)

※当然のことですが、視察中の飲食代は、全て議員の個人負担です。  
※議員日当(3,300円×3日)の是非については、今後も課題としていきたいと考えております。

総額	73,750円	出所	議会費のうち旅費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代、議員日当など		

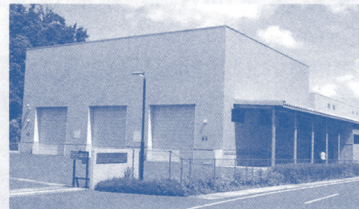
## 2. 会派視察研修 (8月20日～22日)

視察地：島根県出雲市(地域省エネルギービジョンについて)  
京都府京丹後市(バイオマスタウン構想について)



### 出雲市にて

同市では、今年2月に「出雲市地域省エネルギービジョン」を策定した。一般家庭の二酸化炭素排出量を、平成19年度比で20%削減することを目標としている。「家庭版ISO」の普及活動や「子どもエコクラブ」への支援など、家庭や学校において関心を高める仕掛けづくりは、今後真岡市でも検討すべきことと思われる。



### 京丹後市にて

平成17年の開設以降、全国から視察が相次いだバイオガス発電施設。ごみを発酵させた際に発生するガスを利用して発電するシステム。当初、「いかにして住民と協働で生ごみの分別を行っているのか」に関心を抱いたが、生ごみは周辺の食品工場から排出されるものと聞き、その点は少し残念な思いがした。

この視察では、右記の金額が公費でまかなわれました。(議員1人あたり)

※当然のことですが、視察中の飲食代は、全て議員の個人負担です。

総額	94,230円	出所	政務調査費
内訳	交通費、宿泊費、相手先みやげ代		

※なお、視察の詳しい所見については、中村のホームページにて掲載予定です。

## コラム むあっぴ

7～8月の2ヶ月間、障がい児を育てている母親達のいくつかのグループと意見交換をする機会を度々持つことになった。このように、同じ時期に、同じテーマについて、しかも異なったグループから申し出を受けるのは大変珍しい。話を聞けば、ある障がい児支援施設で『日中一時支援事業』を廃止する噂(正確には規模縮小だった)が保護者の間で広まったことが、私の所に話が来た大きな理由だったようである。

独身である私は当然のことながら子育ての経験がない。しかし、議員としてこれまで度々障がい児の問題に向き合い、支援策の現状を目の当たりにした中で、不安に感じる面が多々あった。我々独身者にとっても、この問題は将来当事者になる可能性が否定できない事柄なのである。

さて、今回行われた一般質問のやりとりを見ると『日中一時支援事業の充実化』『ひまわり園の母子分離通園の拡充』と、障がい児と保護者を「引き離す」ような提言が並んでいることにお気づきになれるかと思う。「そんなに障がい児の親たちは、子どもと離れたがっているのかねえ…」

保護者と膝を交えた話し合いを

障がい児支援策の改善に向けて

以前に同じような質問をした際、市民の方からそうしたご意見をいただいたことがあった。

確かに、障がい児と保護者が健全な関係を構築するために、密度の濃いコミュニケーションは必要不可欠なことも知れない。しかし、その一方で保護者の精神的負担の軽減や、就労の支援、さらに冠婚葬祭等一時的に育児が困難になった際の支援も、見落としはならない課題ではないだろうか。それらは何も、障がい児の親だから特別に必要なのではなく、ごく普通の親として当然必要な環境整備であるとも思える。

今回の一般質問で執行部は、①日中一時支援事業の委託単価について見直しを検討していること、②老朽化したひまわり園の移転を検討していること等を、答弁の中で明らかにした。障がい児の福祉施策が改善に向けて前に進み始めたことと評価できる。だが、本当にニーズに合ったものなのかは、当事者にしか分からない部分がある。ぜひとも、検討に入る際には保護者達と膝を交えて話し合う場が設けられるよう強く望みたい。

## 中村かずひこと未来をつくる会

中村のクリーンな政治活動を支える「中村かずひこと未来をつくる会」では個人献金に限り、カンパを受け付けています。頂いたカンパは政治資金規正法にもとづいて適正に処理します。

※入会希望の方は  
中村までご連絡下さい。

(振り込み先)  
真岡信用組合本店  
普通口座 2099671

中村かずひこと未来をつくる会  
代表 中村和彦



## 中村かずひこと活動目録

- 7/1 「ひばりの会」定例会
- 5 真岡青年会議所例会(陰山英男氏講演会)
- 7 あいさつボランティア
- 真岡青年会議所理事会
- 8～10 総務常任委員会行政視察(愛知県豊川市、三重県伊賀市)
- 14 あいさつボランティア
- 真岡市水防協議会
- 真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会
- 16 「ひばりの会」小学校読み聞かせ(於:真岡小学校)
- 19 日本青年会議所サマーコンファレンス2008(於:横浜市)
- 22 議会だより編集委員会
- 23 真岡青年会議所例会
- 24 上三川町「ピスケット」を個人視察
- 姉妹都市提携20周年記念式典
- 25・27 真岡の夏祭り
- 29 栃木県市議会議長会講演会(於:佐野市)
- 真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会
- 8/2 8月の会「今 次世代に伝えたいこと」
- 東郷団地夏祭り
- 4 真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会
- 5 真岡青年会議所理事会
- はが路100km徒歩の旅
- 8 子ども議会傍聴
- 9 はが路100km徒歩の旅
- 10 大谷地区「わかば会」奉仕作業
- もおか木綿踊り
- 11 真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会
- 12 国民健康保険運営協議会
- 18 真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会
- 19 真岡青年会議所例会
- 20～22 会派視察研修(島根県出雲市、京都府京丹後市)
- 23 大谷の夏祭り
- 議会運営委員会
- 25 七井・松が丘養荘慰問(「ひばりの会」の活動として)
- 26 やまさわの里納涼祭
- 9/1 あいさつボランティア
- 議員協議会
- 9月定例議会開会
- 一般質問の通告書を提出
- 5 鹿沼市教育研究所を個人視察
- 真岡青年会議所理事会
- 6 真岡中学校運動会
- 真岡東中学校運動会
- 7 日本青年会議所関東地区栃木ブロック協議会(於:那須町)
- 質疑・一般質問1日目
- ※この日、4人目として登壇
- 真岡青年会議所理事会
- 9 質疑・一般質問2日目
- 真岡地区区長との懇談会
- 10 真岡青年会議所総会
- 12 総務常任委員会
- 真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会
- 13 子どもを育む地域づくり研修会
- 14 ベリテンライブ2008(ボランティアスタッフとして参加)
- 16 「ひばりの会」定例会
- 17 決算審査特別委員会通告
- 19 決算審査特別委員会
- 会派建議要望の取りまとめ
- 21 真岡西小学校体育フェスティバル
- 亀山小学校運動会
- 旭町婦人防火クラブ内閣総理大臣表彰・真岡市婦人防火クラブ連合会消防庁長官表彰祝賀会
- 大谷地区敬老会
- 24 議員協議会
- 9月定例議会開会
- 議会だより編集委員会
- 会派建議要望を市長に提出
- 25 男女共同参画社会づくり市民会議
- 26 芳賀地区選挙をきれいにする運動推進大会(於:市貝町)
- 真岡青年会議所コミュニティネットワーク委員会
- 29 芳賀教育美術展